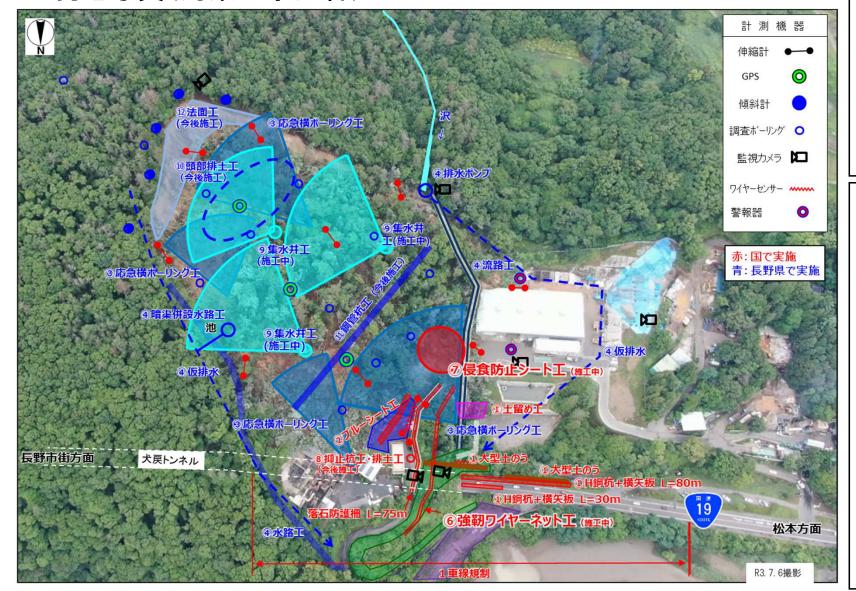
第2回長野県長野市篠ノ井小松原地区地すべり連絡調整会議

長野国道事務所作成

■概要(経緯)

- ・令和3年7月 6日 7:00頃 長野市篠ノ井小松原において地すべりが発生、現地確認 14:20 国道19号への影響が懸念されたため全面通行止め
- ・令和3年7月 7日 長野国道、長野県、国土技術政策総合研究所、土木研究所との合同現地踏査、意見交換会を実施。計測機器の設置
- •令和3年7月 9日 応急復旧工事開始
- •令和3年7月13日 応急復旧工事完了
- ・令和3年7月13日 第1回国道19号長野市篠ノ井小松原地区地すべり対策検討委員会 第1回長野県長野市篠ノ井小松原地区地すべり連絡調整会議
- 令和3年7月14日 6:00 昼間(6:00~21:00)片側交互通行規制に移行
- ・令和3年8月14日 9:20より、降雨により伸縮計の計測値が2.0mm/hを超過したため 全面通行止めを実施し16日16:00に通行止めを解除
- ・令和3年11月8日 第2回国道19号長野市篠ノ井小松原地区地すべり対策検討委員会 第2回長野県長野市篠ノ井小松原地区地すべり連絡調整会議

■現地写真(対策工事内容)



■位置図



■主な応急復旧工事

- ①H鋼横矢板工、大型土のう、土留め工(国道19号への土砂流出を防止)【国】
- ②ブルーシートの設置(崩落土への雨水の浸入防止) 【国】
- ③緊急横ボーリングエ(地下水位の低下)【長野県】
- ④排水工(表面水や沢水の処理)【長野県】
- ⑤各種計測装置、カメラを設置 【国、長野県】

■主な本復旧工事

- ⑥強靱ワイヤーネットエ(国道19号への土砂流出を防止)【国】
- ⑦侵食防止シートエ(崩落土への雨水の浸入防止) 【国】
- ⑧抑止杭工、排土工(地すべりを抑止) 【国】
- ⑨集水井工(地下水位の低下) 【長野県】
- ⑩頭部排土工(地すべりの抑制)【長野県】
- ⑪鋼管杭工(地すべりを抑止)【長野県】
- (12)法面工(地すべり範囲の拡大を防止) 【長野県】

■終日片側交互通行への移行について

- ・上記⑥⑦の工事が完了した後、夜間通行止めを解除し、24時間(終日)片側交互通行に移行します。
- ・なお、現地でのモニタリングを継続し、下記の基準に該当する場合は全面通行止めと して、通行車両の安全を確保します。
- ・24時間(終日)片側交互通行への移行時期については、改めてお知らせします。

【全面通行止めを行う基準】

- ①地すべり箇所に設置した伸縮計で2. Omm/h以上の変位量を計測した場合
- ②長野国道の設置した雨量計で60分雨量が20mmもしくは連続雨量が80mmを超えた場合
- ③監視カメラによる監視で異常が確認された場合 ※緊急自動車及び路線バスも通行不可とします。

【片側交互通行への再移行について】

伸縮計の変位量が2. Omm/h未満かつ降雨量2. Omm/h以下を3時間連続して計測し、 現地の点検等で安全が確認できた段階で片側交互通行へ移行します。

※緊急自動車及び路線バスについては2. Omm/h未満となった時点で通行出来るものとします。 (通行可能となった時点で長野国道より通行可能な旨連絡します。)

第2回長野県長野市篠ノ井小松原地区地すべり連絡調整会議

■現地写真(対策工事内容)



地すべり発生 14:20より全面通行止め 7月 6日

昼間(6:00~21:00)片側交互通行規制開始 7月14日

10月18日 防災・減災対策等強化事業推進費 10億円

【現在までに実施済みの対策】

- ・H鋼杭+鋼矢板 ・大型土嚢 ・ブルーシート設置 ・落石防護柵
- ・コンクリート板破砕 ・計測機器及びカメラ

【現在実施中の対策】

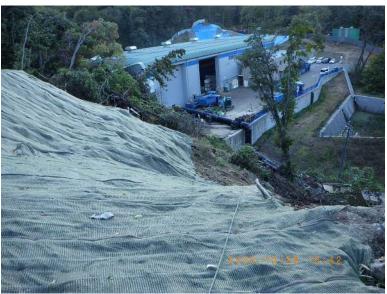
・表面浸食防止 ・強靱ワイヤーネット

【今後の予定】

より安全性を高める更なる対策工事として土留め工・排土を予定しています。



土留め工(テトラ)完了



表面浸食防止工 完了



落石防護柵 完了



強靱ワイヤーネットの施工状況



H鋼杭+横矢板(7月14日)



片側交互通行開始時よりH鋼杭+横矢板を延伸しました。